

# DX推進に向けた取組み

デジタルトランスフォーメーション

2024年12月吉日

## デジタルトランスフォーメーション(DX)戦略

※デジタルトランスフォーメーション(DX)とは、データとデジタル技術の活用により、医療サービス(診療・治療)、業務、組織、文化・風土を変革するとともに、直面する様々な課題の解決を通じて、患者・家族様や医療従事者に新たな価値を提供することを指します。

---

社会医療法人熊谷総合病院は、医療機関として、「病気を治療するのではなく人を診る医療」、「医療はチームである」、「病院職員も幸せを感じる環境づくり」を大切に、病院運営を行っております。

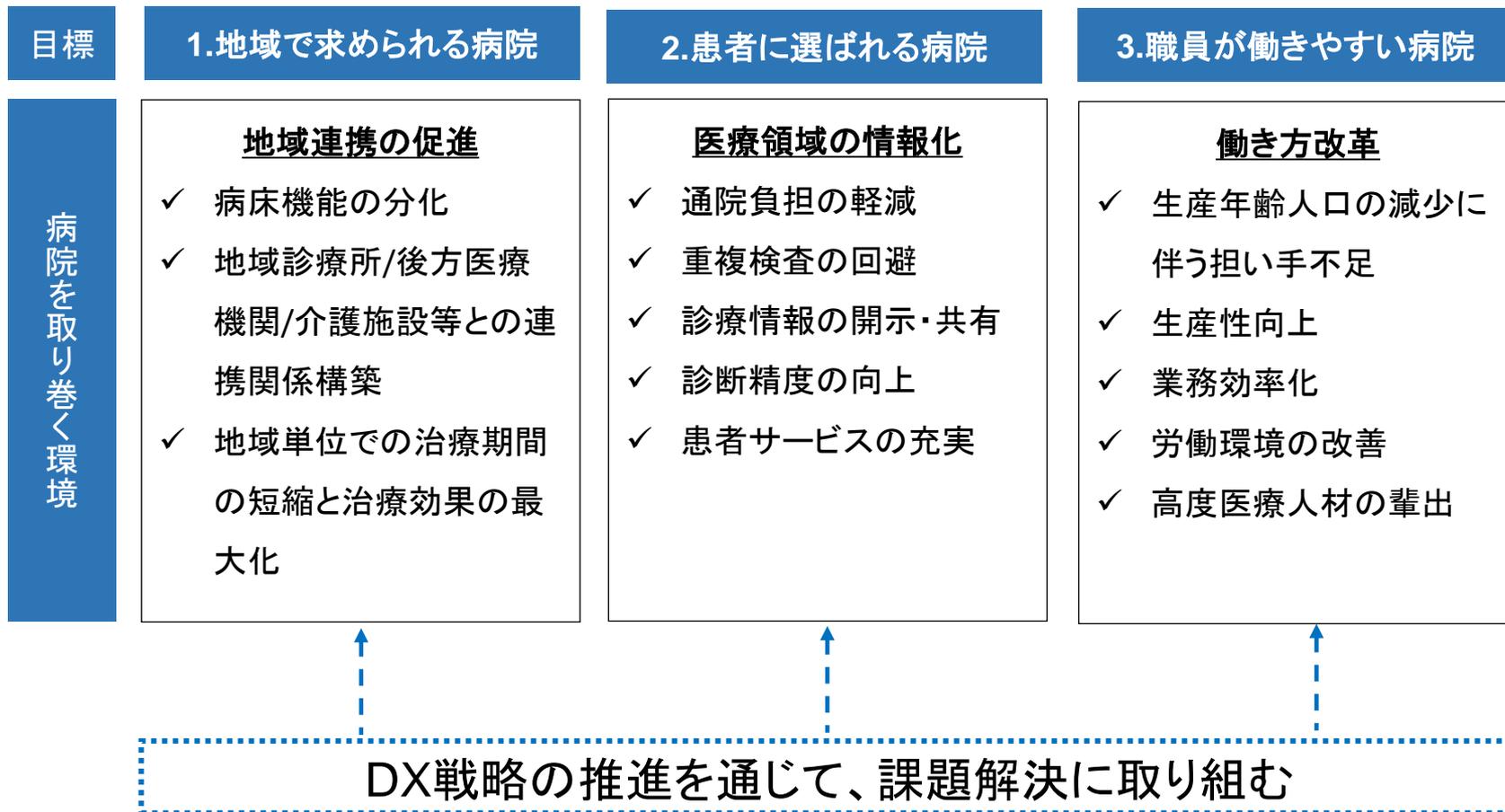
2020年以降の新型コロナウイルス感染症の流行は、医療提供体制に多大な影響を及ぼしましたが、現在ではワクチン接種や治療薬の普及により、医療現場の負担も徐々に軽減されつつあります。しかし、ポストコロナの時代においても、感染症対策の恒常化や医療従事者の働き方改革の必要性は依然として重要な課題です。

また、日本社会の超高齢化による生産年齢人口の減少は、今後も医療現場に深刻な人材不足をもたらすことが予想されます。このような状況において、医療の質を維持し、持続可能な医療サービスを提供するためには、デジタルトランスフォーメーションの推進が不可欠です。

当院では、2022年6月に設立したDX推進室を中心に、DX化の取り組みを進めています。DX戦略を通じて、患者様とご家族、そして職員にとって「選ばれる病院」を目指し、これからも地域に根ざした医療の提供に努めて参ります。

社会医療法人 熊谷総合病院  
理事長 中村 信一  
院長 今野 慎

熊谷総合病院は、地域・患者様・職員に選ばれる病院を目指します



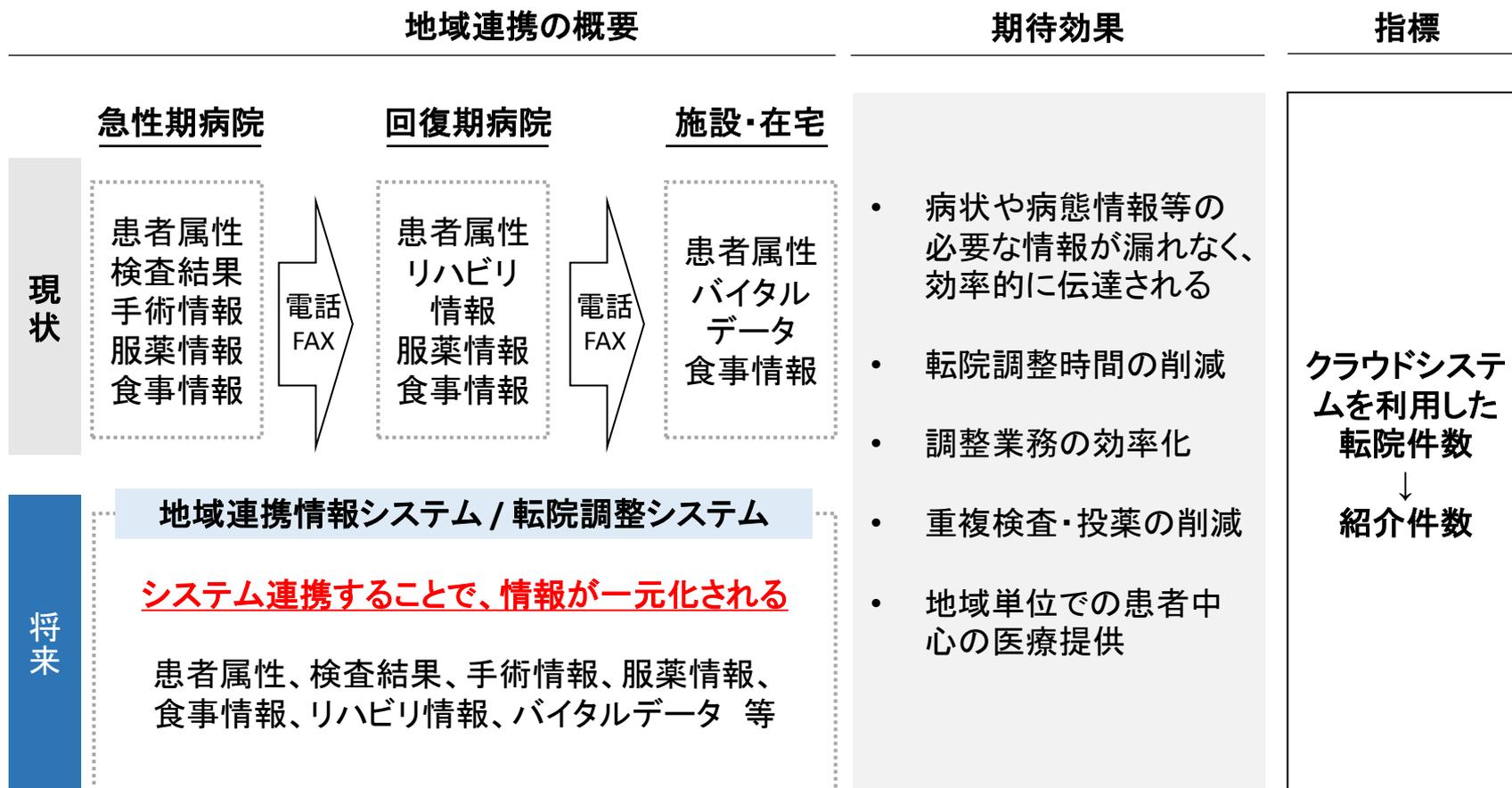
# DX戦略における実施施策

地域連携の促進、医療領域の情報化、働き方改革の為に、DX施策を実施します

	1.地域連携の促進	2.医療領域の情報化	3.働き方改革
DX 実施施策	<p>以下の仕組みを導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域情報連携システム</li> <li>・転院調整システム</li> </ul>	<p>以下の仕組みを導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン診療</li> <li>・AI問診</li> <li>・オンライン決済</li> <li>・処方箋アプリ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AI/ICT利用による業務効率化の推進</li> <li>・e-Learningシステムの活用</li> <li>・生成AIの活用</li> </ul>
期待効果	<p>病院・施設間での患者情報の共有、転院調整に係る業務効率化により、患者様のスムーズな治療移行、後方施設での迅速な情報収集に貢献します</p>	<p>患者様が時間や場所に依存せず、医療サービスを受ける事ができる体制を構築し、受診に係る負担軽減、満足度向上につなげます</p>	<p>非臨床業務の削減や職員間のコミュニケーションの高度化を通じ、職員が働きやすい環境をつくと共に、スキルアップしやすい環境を提供します</p>

# 1. 地域連携の促進

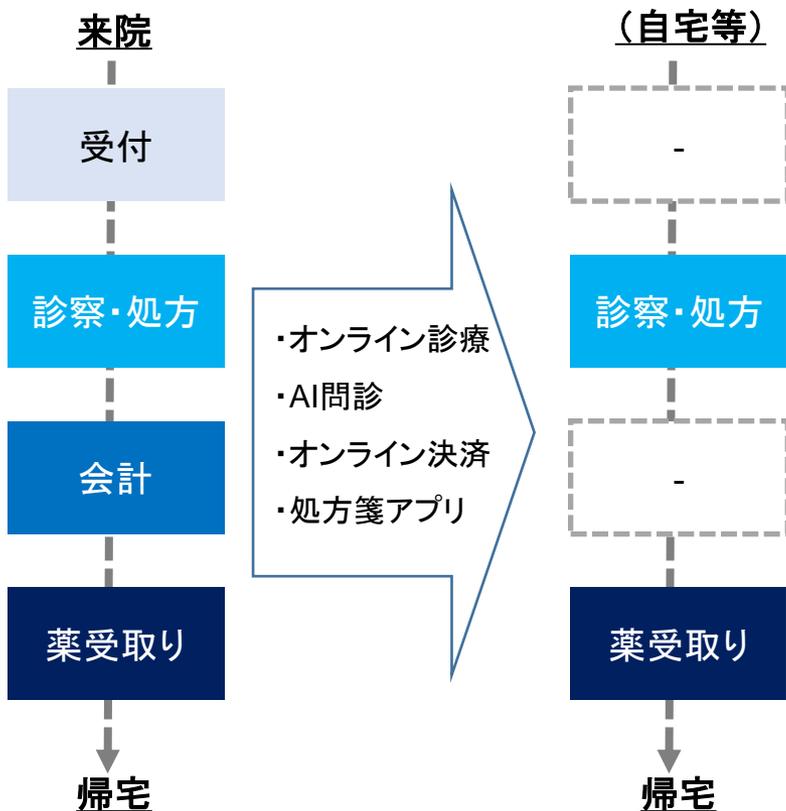
病院・施設間での患者情報の共有及び転院調整に係る業務効率化により、患者様のスムーズな治療移行、後方施設での迅速な情報収集に貢献します



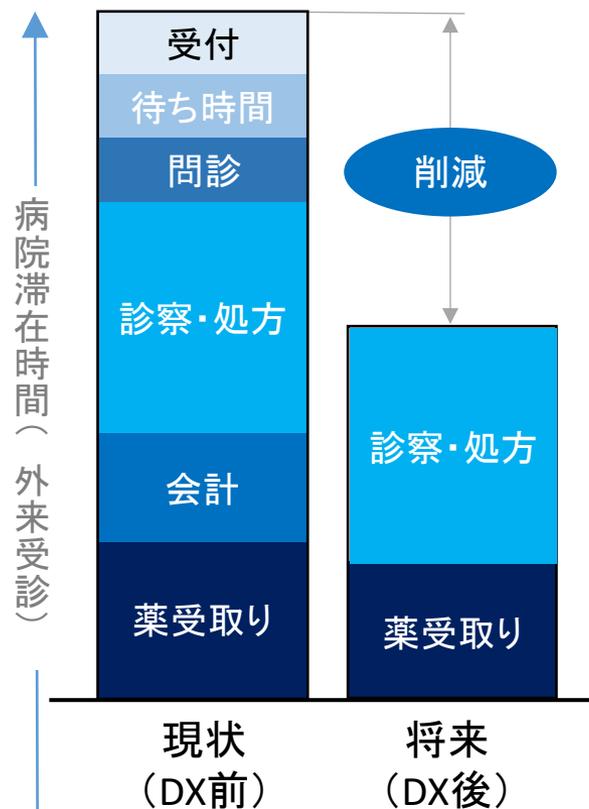
## 2. 医療領域の情報化

患者様が時間や場所に依存せず、医療サービスを受ける事のできる体制を構築し、受診に係る負担軽減を図り、満足度向上につなげます

### 概要(受診行動の変化)



### 期待効果



### 指標



### 3. 働き方改革

非臨床業務の削減及び職員間のコミュニケーションの高度化を通じ、職員が働きやすい環境をつくと共に、各職員がスキルアップしやすい環境を提供します

#### 働き方改革の概要

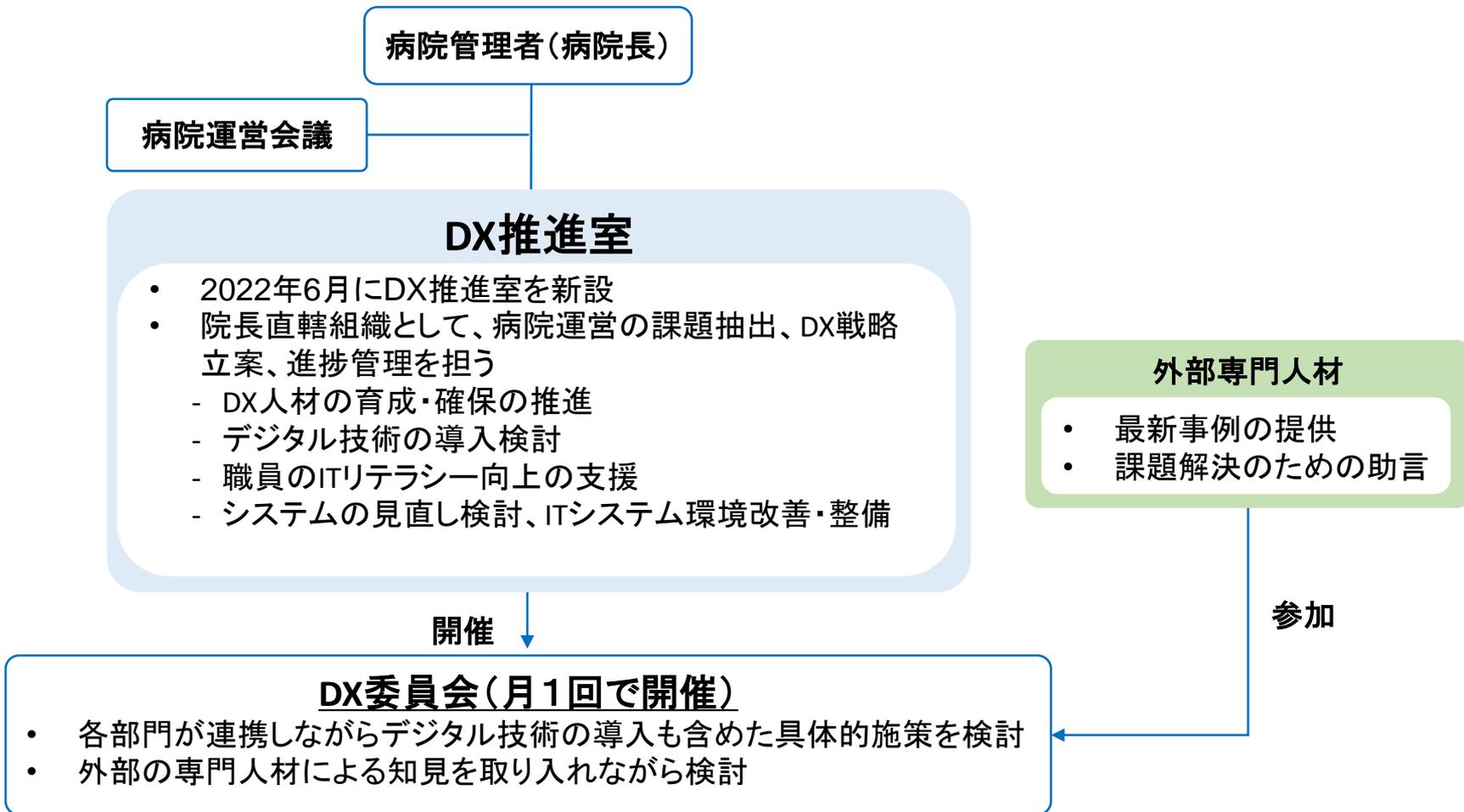
#### 期待効果

#### 指標

<p>職員 ↓ 患者</p>	<p>臨床業務のデジタル活用により、診療補助、業務工程の短縮を実現し、患者様と向き合う仕事に集中できる環境を整備</p>	<p>患者見守りシステム AI問診</p>	<p>業務工程・時間の短縮 コミュニケーション増加 臨床業務の安全性向上</p>	<p>一人あたり 残業時間数 ↓ 時間あたり 労働生産性  人材の育成 ↓ IPAの資格 保有者数</p>
<p>職員 ↓ 職員</p>	<p>分散化される各職員のスキルや評価等の情報を一元化・クラウド化し、人材の適材配置や専門人材の育成への有効活用</p>	<p>人事システム e-learningシステム</p>	<p>適材適所の配置 適正評価の実施 人材育成の強化</p>	
<p>職員</p>	<p>カルテ入力の音声入力や患者情報のリアルタイム記録等により、記録時間の削減、安全性の向上</p>	<p>音声入力システム バイタルデータの自動取り込み</p>	<p>非臨床業務の効率化 安全性の向上 (誤記載等の防止)</p>	

# DX推進の組織体制

病院長のコミットメントの下、課題抽出と戦略の立案を行い、外部専門人材の知見を取り入れながら、多職種で推進します



# DX推進の進捗状況・年次計画

	～2024年度	2025年度	2026年度～
実施施策	<p><u>以下の仕組みを導入</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PHR(部分導入)</li> <li>・地域情報連携システム</li> <li>・転院調整システム</li> <li>・処方箋アプリ</li> <li>・e-Learningシステム(既存)</li> </ul>	<p><u>以下の仕組みを導入</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PHR(未導入部分の整備)</li> <li>・AI問診</li> <li>・オンライン決済</li> <li>・生成AI、RPA(Robotic Process Automation)</li> <li>・e-Learningシステム(新規)</li> </ul>	
効果	<p>地域連携の促進により紹介入院件数や医療機器の共同利用件数が増加する一定の効果を確認しています</p>	<p>外来待ち時間の改善や労働生産性の向上に重点的に取り組み、患者様に選ばれる病院づくりを目指します</p>	<p>働き方改革を通じて、職員満足度の向上ならびにスキルアップできる環境を提供し、職員に選ばれる病院づくりを目指します</p>